

放課後に多様な体験

「みんなの学び場YELPO」始まる

八戸

小学生を対象とした放課後教室「みんなの学び場YELPO(エルポ)」が3日、八戸市立根城小体育館で始まった。1回目

は八戸学院大ラグビー部ヘッドコーチの山下祐史さん(32)と部員4人を講師に迎えたワークショップを開催。児童約10人が参加し、ラグビーに親しんだ。(小林彩乃)



パスのやり方を教わる子ども

児童 初回はラグビーに親しむ

同教室は、子どもたちの放課後の居場所づくりを目的に、同市の戸賀澤美奈さん(42)が企画した。今後は市内で工作や手芸、スポーツを学ぶワークショップを実施する予定。戸賀澤さんは「さまざまな体験を通して、自分の持つ可能性に気付いてほしい」と力を込める。

参加者は、二つのグループに分かれてボールのパスの速さを競うゲームや、腰に着けたひも「タグ」を取り合う遊びを楽しんだ。同小2年の松沢悠永君(8)は「タグ取りゲームが面白かった。また、やってみたい」と話していた。

7日は午後4時から白銀南公民館で八学短大の教授や学生たちを講師に迎えた駆けつけ教室、13日は同4時から吹上公民館で工作を体験する講座を開催する予定。

問い合わせ、申し込みは戸賀澤さんへ携帯電話0990(8788)0907へ。